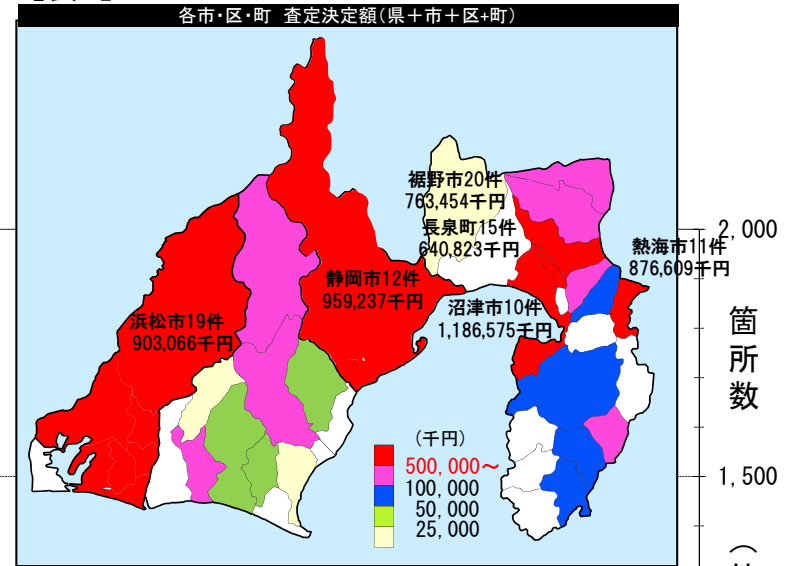


令和3年 静岡県内の公共土木施設災害 ～政令市及び市町含む～ 土木防災課所管

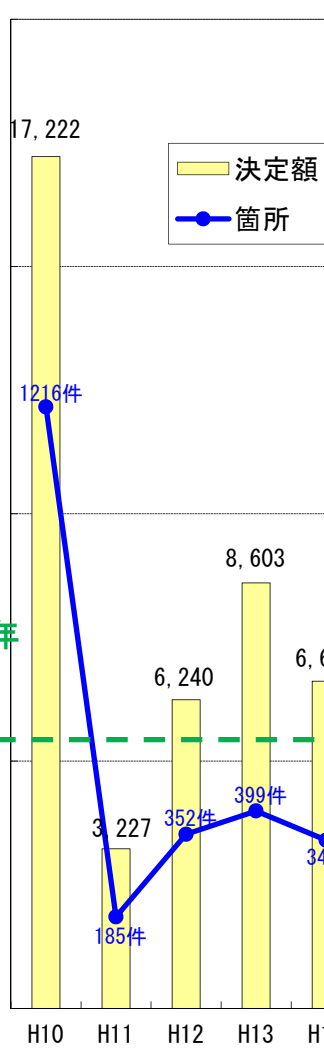
【概況】 7月の豪雨をはじめ6回の異常気象で県、政令市及び市町が管理している河川、道路等の公共土木施設(港湾・漁港・公園除く)が被害を受けた。国土交通省及び財務省による災害査定が実施され、**23市町、135件、約69億3千万円**の査定決定を受けた。

【表2】



【表3】

決定額 (百万円)



【表1】

令和3年発生災害 査定結果集計(工種別)						
工種	県		市町		県+市町合計	
	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
河川	72	2,852,923	9	396,150	81	3,249,073
海岸	0	0	0	0	0	0
砂防	4	123,306	0	0	4	123,306
地すべり	0	0	0	0	0	0
急傾斜	0	0	0	0	0	0
道路	8	637,583	15	717,983	23	1,355,566
橋梁	3	585,366	0	0	3	585,366
下水道	0	0	1	35,437	1	35,437
合計	87	4,199,178	25	1,149,570	112	5,348,748

政令市						
工種	静岡市		浜松市		政令市合計	
	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
河川	0	0	0	0	0	0
海岸	0	0	0	0	0	0
砂防	0	0	0	0	0	0
地すべり	0	0	0	0	0	0
急傾斜	0	0	0	0	0	0
道路	7	785,755	16	798,344	23	1,584,099
橋梁	0	0	0	0	0	0
下水道	0	0	0	0	0	0
合計	7	785,755	16	798,344	23	1,584,099

県+政令市合計		
箇所	金額	金額
135	6,932,847	

※内転属額等は含まない

過去24年の平均
5,542

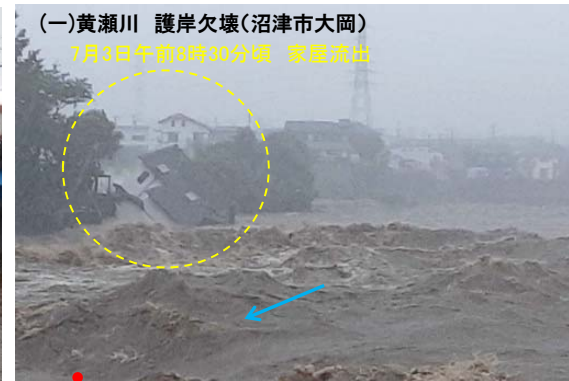
※内転属額含まない

令和3年 静岡県内の主な公共土木施設災害の状況 ～政令市及び市町含む～土木防災課所管

【社会的影響が大きかった災害「令和3年7月1日から6日の梅雨前線豪雨」】

この期間、梅雨前線が東・西日本の太平洋側沿岸に停滞し、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだことから、県内では断続的に雨が降り続き、累加雨量は県内全域で100mmを越え、東部を中心に記録的な大雨となった。この影響で、多くの河川で水位が上昇し、黄瀬川や大場川などで氾濫注意水位（警戒水位）を超過した。特に、鮎沢川（小山町）、大場川（三島市・長泉町）、黄瀬川（裾野市）、高橋川（沼津市）、藁科川（静岡市）、興津川（静岡市）、足久保川（静岡市）、釣橋川（浜松市）の8河川9地点では氾濫危険水位を超過した。

被災月日	被害原因	査定申請件数
① 3.20～21	豪雨	1
② R2.7.3～R3.4.14	地すべり	1
③ 5.20～21	梅雨前線豪雨	3
④ 7.1～6	梅雨前線豪雨	111
⑤ 8.12～22	豪雨	14
⑥ 9.1～3	豪雨	5
計	6回	135



⑤ 8月12日～22日の豪雨



② R2年7月3日～R3年4月14日の地すべり



④ 7月1日～6日の梅雨前線豪雨



(一)黄瀬川 護岸欠壊(長泉町下土狩)



被災直後

源頭部 (R3.7.3午後)



④ 7月1日～6日の梅雨前線豪雨

- 熱海市伊豆山地区 土石流災害
- ・二級河川逢初川：土砂埋塞・護岸欠壊
 - ・逢初川砂防：砂防施設欠壊
 - ・(国)135号：土砂埋塞、逢初橋破損
 - ・市道・下水道：土砂埋塞、道路・管路欠壊